

自己実現 2022

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[高校最後の定期考査が始まっています]

74回生のみなさんにとって、最後の定期(期末)考査が始まっています。焦るのではなく、できること、分かることをひとつでも増やすことが大切な時期です。しっかり準備しせっかく勉強したことを漏らすことのないように、一つ一つ丁寧に自分のものとしていきましょう。

[第5回実力考査答案返却及び個人成績票の返却(12/8(水)予定)について]

第5回実力考査の各教科の採点答案が返却されました。各回の実力考査にはそれぞれ意味があり、その時期ごとのみなさんの学力の到達度を測るとともに、みなさんの学力を引き上げるためのものでした。今回の実力考査は、国公立大学前期日程の約3か月前に実施したものであり、その結果です。何度も繰り返しますが勝負はこれからです。これ以降の3か月間にひとりひとりの状況は大きく変化し、同じ順位(成績)の人でも合否が分かれることが多々あります。また、逆転現象もあります。この結果は目安であって絶対的なものではなく、本当の意味での「実力」はまだ進化の途中であるということを肝に命じてください。

[A%・B%成績について]

3年生の実力考査は総合成績を「A%成績」・「B%成績」という数値で表示しています。第4回実力考査は、業者模試(ベネッセ・駿台記述模試)を利用して実施しましたが、第5回実力考査では、「A%成績」を算出するための各教科・科目の数値は、校内実力考査(第5回)とマーク模試(全統マーク模試)の平均値を用いています。一方、「B%成績」を算出するための各教科・科目の得点は、校内実力考査(第5回)のみを用いています。「A%成績」は5教科(文系：国・英・数・地歴公民・理科，理系：国・英・数・地歴 or 公民・理科2科目)、「B%成績」が3教科(文系：国・英・数，理系：英・数・理科2科目)という点は他の回と共通です。合否追跡調査に用いる総合成績は、第3～5回の各科目の平均値を算出し、その数値を「A%成績」・「B%成績」の算出式に代入しています。

[第5回実力考査教科・科目別講評]

<国語>

平均点は解答プリントに記載したとおり。記述問題にも粘り強く取り組む生徒が増えてきた。焦らず2月まで演習を重ねることで、読解と解答作成のスピードを上げることができると期待している。一方、記述問題を避けたうえに選択問題もできなかった人も多く、点数に大きく開きが出た。共通テストや私大入試だけを考えている人も、自分の解答を明確にしなければ、短時間で長い文章を読み、長い選択肢を吟味することはできない。また、今回も古典分野の平均点が4割に満たなかったことは残念である。毎回反省点として挙げていることだが、古文単語・文法事項の基礎知識が不足している。これによって、簡単な知識問題に答えられないだけでなく、本文を正確に読むことができない。残り1ヶ月余りで、これまで後回しにしてきたことにどれだけ向き合えるかが、分かれ道になるだろう。

評論は、言語学を援用して分解の意味を説く哲学的文章。問一～問三の基本的な知識問題の正解率が低いことは残念であった。漢字を含む言語知識を増やし続けてほしい。記述問題を見ると、ある程度内容理解はできているものと思われるが、設問に対応する形で解答作成できないため点につながらない。本文中の比喩的な言い回しをわかりやすく言い換えて、自分の理解を表現す

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

ることを心がけよう。

小説は、主人公の少年時代の回想が主となった、比較的読みやすいもので、記述問題にも意欲的に取り組んでいた。ただ傍線部前後など、だいたいこのあたりを書いておけばいいのだろうと、本文を無造作に抜き書きしたような答案が多いのが気になる。問いに対する答えになっていない答案も目立った。設問をきちんと読むこと。

古文は、歌論からの出題であった。歌論独特の言い回しや用語が多く含まれたうえ、問題文にも分量があり、読み取りに苦労した生徒もいたかもしれない。記述問題では、答案の構成力が不足しているものも多く見られた。題意に従って、要素をどの順番で組み立てていくべきなのかを考えてから、解答を記述したい。さらに、今回のような歌論では特に「注」を丁寧に参照することも求められる。億劫がらずに「注」を読解に利用したい。

漢文は、問一～三や問五の現代語訳は、基本的な句形や漢字の知識が身につけておれば、確実に得点できた設問。問三や問五で、注をきちんと見ていないことによる失点が目立ったのは、古文と同じ。最も気になるのは、最後の実力考査でも、明らかに時間切れによると思われる白紙答案が目立つこと。入試本番に向けて、時間配分をもっと意識していこう。

〈英語〉

今回は、最後の実力考査ということで、点数を取ってもらおうと、少し難易度を下げ、時間も10分増やしました。国公立大学の二次試験や私大入試では、長文読解問題の配点は高く、内容説明問題で受験生同士の差がつくようです。自由英作文では大差はつかない、と京都大学の再現答案を採点しての予備校の考察があります。自由英作文はある程度自分主導で書けますし、練習すればするほどうまくなります。中学校程度の語彙でも、間違いでない限り、減点できないのです。ところが読解問題では、難単語も容赦なく出ています。これはわざと出されているのです。文脈から意味を類推できるか、を聞かれているのです。

また、今後は受験に向けて過去問をやり始める人もいると思いますが、どの問題からどう解いていくか、どの問題で点を取り損ねてはいけないか、合格者最低点はどれぐらいで、自分は今のあたりにいるか、英語では最低で何点取らなければならないのか、ということも十分吟味してください。各大学はHPに「出題の意図」を載せています。自分が受ける大学の出題意図には目を通しておいてください。

授業では共通テスト対策がメインになっていますが、その内容はどちらかといえば読解のみで偏っており、文章も平易なものが多くなっています。今から一か月半ぐらいで共通テストになりますが、そのみの学習にならないように、各自でバランスを考えて勉強に取り組んでください。また、語彙力をつける努力に終わりはありません。「鬼の反復」は今後もずっと続けてください。人間は忘れる生き物です。覚えたと思っても油断せず、繰り返し学習してください。

〈数学〉

最後の実力考査が終わりました。3年生になってからの実力考査については、複数回にわたり、様々なタイプの問題に触れて欲しいという観点で出題してきました。もう一度復習をしてください。なぜそのように考えて、解答していくのかを理解することにより、幅広い対応力をつけましょう。記述に関してはまだ改善の余地があります。詳解を見直して、正しい記述を身につけましょう。定型の言い回しなどを身につけるのも、隙のない記述をする上で大切なことです。計算に関しては、まだまだミスが目立ちます。これを改善するためには練習あるのみ、解答を見て理解するだけでなく、自分の手を動かして解くということを怠らず、取り組んで欲しいと思います。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈物理〉

問題文の誘導に沿って物理現象をモデル化し、うまく近似をしていくことで、よく知っている物理法則が導かれるような問題を出題。これらの問題は文章量が多くなり、読解力が求められる。また、近似をする前の式は複雑であり、計算力も必要である。解ける問題であるにもかかわらず最初の方で間違い、大きく点数を落としている人も多数見受けられた。大学入試は、受験者内での相対評価であるので、解ける問題は確実に正答するように訓練してほしい。1 度出会った問題は次に似たような問題が出題されたときに解けるように必ず自分で手を動かして復習して下さい。

1. Galilean cannon 多段式垂直衝突球

<https://www.youtube.com/watch?v=eIwb5avS42I>

昔流行った Physics Toy である。最近は出題されていないので、そろそろどこかの大学でまた出題されるかもしれないと思の出題。実際の映像が QR コード(URL)から確認できるので見たい人はどうぞ。うまく近似することで簡単な計算で最高点が求められ、近似の効果を実感しやすい。相対速度で考える手法もよく使うので慣れてほしい。



2. LASER による干渉

物理教育研究での大学生へのあるアンケート結果によると、干渉や回折について、高校時代はやり方の暗記であまり理解できていなかったと答える割合が全体の7割を超えるという話を思い出したので、普段とは違うレーザーによる干渉の問題を出してみた。やはり正答率はよくなかった。今回出題の問題の中では一番簡単であった。LASER とは「Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation」の略で、「誘導放出による光増幅放射」という意味である。ちなみに誘導放出という理論を提唱したのはアインシュタインであり、1917年にレーザーとメーザーの理論的基礎を確立している。

3. 導体中の自由電子の運動

導体内の自由電子による電気伝導について考察する問題。前半では、熱運動による速度と電場により得られた速度の混同から起こる矛盾を指摘し、導体棒内部の自由電子の状況についての理解を深める。後半では、理論的にオームの法則を導き、通常温度変化の場合には抵抗率の変化は小さく、オームの法則の成立を仮定することが妥当であることを確認する。近似計算が大変。

〈化学〉

第5回実力考査は、京都・大阪・神戸大学等、多くの大学の大学大問構成である、1 2理論3有機4高分子の分野で出題した。大阪(75分)・京都(90分)など試験時間が長い大学では大問の中でもさらに二つに分かれての出題が多く、今回はその形式も取り入れた。時間配分に気を付け、限られた時間の中で自分が取り組みやすい問題を見極め、解き進める力も必要である。さて、今回の実力考査は、誘導形式によって式変形をする問は比較的正答率が高いが、自ら考えて計算式を立てる問題に関してはかなり低い正答率であった。共通テスト後も国公立大学前期日程まで時間があるので、思考を要する問題にも対応できるよう演習を積んでほしい。暗記の多い無機化学の分野も正答率が低かった。無機化学のみを大問で出題する大学は少なく、ほとんどの大学で理論分野と絡めて出題される。しかし、基本的な反応原理を理解し、製法等も確認しておかなければ、量的関係の計算問題等が絡むと対応できなくなる。演習を重ねる中でまだ覚えきれていないものが見つければ、その度に資料集等を見返し、その周辺分野も含めて復習することを心がけてほしい。また、高分子化合物の分野の正答率も低かった。浪人生と比較して、現役生がどうしても演習不足になるのはこの分野である。有機・高分子化合物の分野が得点源になる大学も多いため、2 学期前半に習ったこの分野の演習も積んで入試に挑んでほしい。

大問	分野	平均点
1.熱・気体(蒸気圧)	理論	6/26点
2.化学平衡	理論	8/29点
3.構造決定	有機	13/21点
4.ペプチド・多糖類	高分子	4/24点
平均点：全体31点、(総理47点)		

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

昨年度からセンター試験から共通テストに変わり、従来の一問一答のような形式ではなく、一つのテーマから派生した繋がりのある問、そして、基礎に加えてプラスαの思考が要される問題が増えており、以前よりも共通テスト対策がそのまま二次試験の対策に繋がるようになっていいる。これまでの4回の校内実力テスト、自分が受験した模試の解き直しも丁寧にいき、取り組んだ問題に対して確実に理解しながら前に進んでほしい。

〈生物〉

今回のテストでは、**1** (29%) の正答率が最も低く、生産者の現存量と純生産量から各生態系の特徴がとらえられることを学んでもらいたい。次に**4** (34%) では、5) (3) のように答えにくい問題もあったが、他は標準レベルなので記述に時間がとれるように時間配分に気を付けてほしい。**2** (40%) では、片方の染色体の遺伝子に lox P を挿入した親同士の交配で生まれた子マウスがどのような遺伝子型をもつかをまず考えること。そして Cre リコンビナーゼによりどこが切り取られるのかを読み取ることが必須である。6) の計算問題は頻出なので必ず復習を。**3** (45%) では、DELLA タンパク質が「伸長促進する遺伝子の発現抑制」する調節タンパク質であることに気付くことが重要である。ジベレリンが直接、遺伝子発現の調節をするのではなく、GID1 受容体との複合体が DELLA タンパク質の働きを左右する情報伝達のしくみを学んでもらいたい。

問題文や図にはヒントが隠されているので、それを読み取る力をつけてください。

	大問 ^o	平均点 ^o
1	物質生産・個体群 ^o	9.7/33 点 ^o
2	遺伝子組換え・複製 ^o	7.6/19 点 ^o
3	植物ホルモン ^o	10.3/23 点 ^o
4	興奮の伝導と伝達 ^o	8.6/25 点 ^o
平均点：全体 36.2 点、 ^o		

〈日本史〉平均 52.0点

今回は初めて全範囲から出題で、共通テスト問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。難易度は基礎基本からかなり難解な問題も出題しました。特に今回は共通テストを意識して、じっくり史料(資料)やグラフを読みこまないと解答が導けない問題を出題しました。この問題に時間を取られて時間が足りなかった人が多かったようです。実際の共通テストは、今回の問題数よりもだいぶ少ないので皆さんなら答案を見直す時間もあると思うので安心してください。社会科は今からが勝負です。期末考査後は共通テスト模試を何回もやります。今後の頑張りを期待します。

〈地理〉平均 約47点

大問1 世界の大地形と海流、気候問題ですマダガスカル島の気候や農業の特徴はよく出題されます。

大問2 東ヨーロッパの地誌、各民族の基本的な内容はきっちり確認しておくこと。例えばバルト3国の違いやスラブ系民族の宗教全てが正教ではないことなど。

大問3 オセアニアの地誌、問1は経緯度の基本的な内容、確実に出来るように。オーストラリアとニュージーランドの主要な場所の気候的特徴をしっかりと覚えること。

大問4 東南アジアの地誌 アセアン諸国の特徴を確認。宗教や言語など。

大問5 私大から。日本の集落について。正答率が良くなかった。少し難しい問題でした。

大問6 私大から。国際情勢を問う問題。以外によく出来ていました。時事的な問題も興味関心をもって下さい。国公立二次、私大の地理受験を考えている人は過去問をやって傾向と対策をしっかりと行ってください。

- ・2年次に学習した基本的な内容、ケッペンの気候区分など、自信がないのなら再度復習を!
- ・これから新しいことをするのなら復習を!・過去問(センター試験も含めて)をしっかりと解く。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈世界史〉

出題は共通テストを意識した問題、2次試験を意識した論述問題等多岐にわたったが、年代を知らないや正答できない問題などもあり、平均43.1点とやや低調であった。世界史はこれからが勝負なので、頑張ってください。必ず、共通テストで8割以上の得点が得られるようになります。教科書や授業プリント・問題集などをしっかりと見直して、歴史の流れを掴むことを第一とし、しかる後、細かな事項も頭に入れていってください。分かってくると同時代の出来事と過去の出来事が繋がり、楽しく学べるようになるはずですよ。

【冬季三者面談について】

これから、冬季三者面談が始まります。実力考査等の成績も出揃い、出願に向けての突っ込んだ懇談を予定しています。主な話題としては、成績等の現状分析、「第一志望」に基づいた出願予定校の確認、「第一志望」へ出願するための現時点での課題の洗い出し、今後の学習計画等です。面談で、こちらから志望変更を迫ることはありません。神戸高校は精一杯生徒の背中を押します。有意義な懇談になるよう、家庭でも事前に保護者の方々もしっかり話をしておいてください。ただし、安易な志望変更は不幸な結果を招くだけでおすすめしません。なお、大学入学共通テスト後にも希望される方は面談をもつ予定です。

【冬休み前中の教室利用について】

この時期は、3年生のみが特別な動きをすることが多くなるので、他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

- ・12/13(月)～23(木)：特別授業期間(3年生のみ午前中授業)：時間帯 3限終了後～17:00
- ・1/4, 5, 6, 7 時間帯 8：20～17：00：自習場所：進路資料室・指示教室

【注意】①平日の下校時刻(17:00)までであっても、三者面談のためHR教室の利用はできません。

②特別編成授業中の午後は、1・2年生は授業、3年生は三者面談を行っています。廊下、食堂等で音(私語を含む)を一切出さないよう十分注意してください。

③土日祝日および12/28～1/3は登校しないでください。

【2学期期末考査以降から3学期にかけての予定】

- ・12/13(月)～12/23(木)：特別時間割(午前中授業[3コマ])※12月中旬～：冬季三者面談
- ・12/24(金)：大掃除、終業式
- ・12/26(日)：共通テストプレテスト①(半日)
- ・12/27(月)：共通テストプレテスト②(全日)
- ・12/28(火)：登校禁止
- ・01/11(火)：始業式
- ・01/12(火)～01/14(金)：特別時間割(午前中授業[3コマ])※01/14(金)：学年集会(3限)
- ・01/15(土)～01/16(日)：大学入学共通テスト
- ・01/17(月)：1限 学年集会 2・3限 自己採点・解答復元作業
- ・01/18(火)～01/28(金)：特別時間割(午前中授業[3コマ])

※01/31(月)：大掃除・学年集会・LHR

〔後記〕受験とは何のためにするのか?「志望校に入学するため。」もちろんそれもあります。しかし何よりも**試練を体験し、困難に挑戦し、その壁を乗り越える力を体得すること**が最も大切なことだと思います。受験を通してその「力」と「自信」を手に入れることが一番の目的です。受験を通して成長できた人は、将来社会に出たときに必ず直面するさらに大きく困難な壁も乗り越えていくことができるはずですよ。人生の壁を前にしてどう行動するかでその人の真価がわかります。大志を実現してくれることを期待しています。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。